

国保病院

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010010	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	医師確保対策事業			担当課	国保病院・老健施設
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	常勤（換算）医師数			数値目標	3人

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
医師確保対策 情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣			情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣		情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣		情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣		情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣		情報収集、面談旅費 民間医師紹介業者への求人 非常勤医師紹介業者からの仲介派遣	
			年度別数値目標	3人	3人	3人	3人	3人				
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	30,000	412	6,000	412	6,000		6,000		6,000		6,000
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	19,217	0	7,217	0	3,000		3,000		3,000		3,000
合計(千円)	49,217	412	13,217	412	9,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	0
特定財源	国保調整交付金		評価・実績	実施内容 ●情報収集、関係機関訪問旅費 ●民間医師紹介業者への求人 ●非常勤医師紹介業者からの仲介派遣 ●医師ツアーの実施								
				評価結果	A - 継続 / 現状維持							

事業名	医師確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標 (指標計算式/解説)	常勤 (換算) 医師数	
抱える課題やニーズ	地域性から医師や医療従事者の確保が難しい。将来的に地域医療を維持するためには、近隣医療機関との連携も不可欠であり、常勤 (換算) 医師の確保による安定した医療体制を構築する必要がある			① 常勤 (換算) 医師の確保	目標値及び実績値
どのような状態になることを目指したのか (意図)	常勤 (換算) 医師を確保し、安定した診療体制を維持するとともに、安心感のある医療体制の構築を目指す必要がある		目標年度		令和5年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果 = 目的	町民への安定的な医療支援の継続が可能となり、町民の健康・安全及び効率的な病院運営を推進することができる		目標値	3名	
			実績値	3名	
内容 (どのような手段で何を行ったか)	常勤医師の確保	常勤医師2名体制を確保 (維持) することができた	達成度	100%	
	常勤換算医師の確保	医師求人情報掲載 (有料ホームページ等)、医師紹介業者及び関係協力機関からの仲介派遣等を活用し常勤換算では、医師3名を確保 (維持) することができた	目標年度	令和5年度	
	医師ツアーの実施	雄武町の医療現場を理解していただくため、医師を招聘し、雄武町の医療現場を含めた雄武町全体のPRを実施	目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医療法施行規則により病院に置くべき医師の員数については常勤換算で3名と定められているとともに、安全かつ効率的な地域医療体制の確保は、公立病院開設者である町としての責務である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		常勤医師の2名体制を確保することができた。また、非常勤内科医師の平日診療、旭川医大からの小児科及び耳鼻咽喉科医師の定期派遣を受け、常勤換算では目標値を達成できた。町民の受診機会も確保されており、設定した目標を達成することができている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		旭川医大、札幌医大、個人医師及び北海道地域医療振興財団との連携により安定的な医師派遣体制を整えてきたところであり、常勤医師についても2名体制が確保でき今後もコスト抑制が期待できる状況となっている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由		町民全員の健康及び医療受診体制に係わるものであることから公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
常勤医師2名体制が構築され、また、非常勤医師及び派遣医師により常勤換算では医師3名を維持し、計画的な診療体制の確保が図られ、計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持		
社会情勢や当院の運営状況等を見極め、引き続き関係機関との積極的な連携強化に努め、病院機能として安定した診療体制を構築し、常勤換算3名の医師確保を維持する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010020	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	院内ネットワーク整備期間（令和6年度～令和10年度）
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	病院情報ネットワーク事業			担当課	国保病院・老健施設
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町		
事業指標	電算システム運用数			数値目標	年5件

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守			医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守		医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守 院内ネットワーク整備		医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守 院内ネットワーク整備		医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守 院内ネットワーク整備		医事・会計・健診・薬品在庫システム保守（リース） レセプト電算システム保守 オーダリングシステム保守 看護記録システム保守 医薬品情報管理システム保守 院内ネットワーク整備	
			年度別数値目標	5件	5件	5件	5件	5件				
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	50,754	8,778	8,778	8,778	10,494		10,494		10,494		10,494
合計(千円)	50,754	8,778	8,778	8,778	10,494	0	10,494	0	10,494	0	10,494	
特定財源			※簡素化対象事業									
	評価・実績	実施内容										
	評価結果	A - 継続 / 現状維持										

事業名	病院情報ネットワーク事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)		望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	電算システム運用数		
抱える課題やニーズ		指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
どのような状態になることを目指したのか (意図)		① 医療関係システムの保守	目標年度	令和5年度	
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	※成果=目的		目標値	5件	
			実績値	5件	
内容 (どのような手段で何を行ったか)		②	達成度	100.0 %	
			目標年度	令和5年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0! %	

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

		設定した目標値の達成状況	
	<input type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

		判断の理由	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	その他	

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A~D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		

今後の展開方向
(Action)



継続/現状維持		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010030	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	医療機器整備事業		担当課	国保病院・老健施設	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町	関係課	
事業指標	更新機器数		数値目標	20機種	

全体計画事業内容				令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
医療機器の更新整備				医療機器の更新整備		医療機器の更新整備		医療機器の更新整備		医療機器の更新整備		医療機器の更新整備	
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
	国庫支出金	13,750	3,850	2,750	3,850	2,750		2,750		2,750		2,750	
	道支出金	6,875	1,925	1,375	1,925	1,375		1,375		1,375		1,375	
	地方債	201,000	65,300	68,400	65,300	48,200		39,400		19,500		25,500	
	その他	0	0										
	一般財源	255	209	75	209	35		45		25		75	
合計(千円)	221,880	71,284	72,600	71,284	52,360	0	43,570	0	23,650	0	29,700	0	
特定財源	国保調整交付金 過疎対策事業債 病院事業債		評価・実績	実施内容		●医療機器の更新整備 生体情報モニタシステム 一般X線撮影装置 デジタルラジオグラフィ デジタル画像管理サーバー 全自動散薬錠剤分包機 耳鼻科ユニット							
				評価結果		A - 継続 / 現状維持							

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	安定した医療提供機器の整備								
抱える課題やニーズ	医療機器の老朽化等に伴う更新及び最新医療機器の導入	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	患者のニーズに即した医療機器の整備により、適切な医療の提供をめざす	① 必要に応じた医療機器の整備	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6機種</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6機種</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	6機種	実績値	6機種	達成度	100%
目標年度	令和5年度										
目標値	6機種										
実績値	6機種										
達成度	100%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	適切な医療の提供により、町民の健康増進が図られる	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	令和5年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	医療機器の更新	当初の計画どおり機器の更新を図った。									

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安定かつ適切な診療体制と24時間救急医療体制を維持するため医療機器の計画的な更新 (購入) は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	計画的な医療機器の更新により医療体制が確保できており、期待する効果は得られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	更新機器の選定にあたっては、医師及び看護師等の医療スタッフと協議するとともに、購入費等の精査を行うことで、事業費の抑制に繋がっているものとする。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制に係わるものであることから公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
医療機器の整備には、多額の費用が伴うことから計画的に進める必要がある。令和5年度においても当初の計画通り医療機器の整備更新を図ることができた。		

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持		
町民が安心する医療サービスの提供及び医療機器の経年劣化等に対応するため、計画的に整備を進めており、今後も更新等については必要性等も改めて検証を行った上で事業を展開していく。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■ 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	医療従事者確保人数								
抱える課題やニーズ	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況となっており、経営に必要な職員の雇用が求められている	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の安定的な確保	① 医療従事者確保人数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3名</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3名</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	3名	実績値	3名	達成度	100%
目標年度	令和5年度										
目標値	3名										
実績値	3名										
達成度	100%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	令和5年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	関係機関等への要請及び民間紹介会社の活用	町HP及びハローワークのほか、民間事業者HP (成功報酬制) への掲載、民間事業者からの紹介を活用									

■ 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医師の確保と同様に、医療技術職員の必要数確保は病院機能の維持において重要であり、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	欠員となっていた看護師職員について、民間事業者からの紹介による適切な人数の確保が図られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	今後においても人材確保の方策として有効と考えられる。
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町HP及びハローワークへの募集掲載に加えて民間事業者等からの情報収集や紹介により、即時性かつ継続性の高い人員確保が図られた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び医療受診体制に係わるものであることから公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■ その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■ 総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
公的機関及び民間事業者に対しての求人要請により、医療技術職員の欠員を補充することができ、病院機能を維持することができた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続/現状維持			
医療技術職員の確保は、医師確保と同様に病院機能維持のためには不可欠であることから、今後も継続して民間事業者からの紹介等を有効活用し、技術職員を適宜、適切に募集・確保する必要がある。			

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○ 休止 ○ 廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010050	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	病院環境整備事業			担当課	国保病院・老健施設
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町	関係課	建設水道課
事業指標	整備工事数			数値目標	6工事

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
病院設備環境の整備 空調設備改修 （熱源機器・冷暖房設備） 病室改修工事 （病室全室の棚の設置：12室）			空調設備改修 （熱源機器） 冷却水ポンプ 冷温水ポンプ（2箇所） 温水ポンプ 熱交換器（水熱源HP用） 熱交換器（0-ドヒータ用） エアコン設置工事 （コロナ患者用2室 ・看護師休憩室）		空調設備改修 （熱源機器） 冷温水発生器 L E D化整備工事		空調設備改修 （熱源機器） 真空式温水ヒーター （冷暖房設備） エアコン室内機洗浄 温水ポンプ（空調機用） 温水ポンプ（0-ドヒータ用） 熱交換器（空調機用）		空調設備改修 （熱源機器） 真空式温水ヒーター （冷暖房設備） 機械室給気フィルター清掃		空調設備改修 （熱源機器） 真空式温水ヒーター 熱源水ポンプ		
			年度別数値目標		2工事		1工事		1工事		1工事		1工事
財源内訳	計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費		計画事業費		実績事業費		
	国庫支出金	0	1,980		1,980								
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	117,383	8,789	12,799	8,789	94,750	0	5,027	0	2,585	0	2,222	0
合計(千円)		117,383	10,769	12,799	10,769	94,750	0	5,027	0	2,585	0	2,222	0
特定財源	国保調整交付金		評価・実績	実施内容									
				<ul style="list-style-type: none"> ●空調設備改修 ●エアコン設置工事 ●酸素用マニフォールド更新(変更) ●医療従事者住宅用室外機移設(変更) 									
				評価結果		A - 継続 / 現状維持							

事業名	病院環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	病院施設環境整備								
抱える課題やニーズ	空調設備の経年劣化により院内の温度調整に支障を来しているなど、快適な医療サービス (受診環境) への改善を図る必要がある。また、近年では温暖化による気温上昇により院内の室温上昇も見られている。	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	入院患者及び外来患者等への快適な受診環境の提供	① 施設維持及び受診環境整備のための工事数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>2工事</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>4工事</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>200%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	2工事	実績値	4工事	達成度	200%
目標年度	令和5年度										
目標値	2工事										
実績値	4工事										
達成度	200%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	入院患者への療養環境及び外来患者等への受診環境の改善が図られ、快適な医療サービス (受診環境) を提供する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	令和5年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	<table border="1"> <tr> <td>空調設備改修工事の施工</td> <td>病室ルームエアコン設置、冷却水ポンプ改修、看護師休憩室用ルームエアコン設置、医療従事者住宅用室外機移設</td> </tr> <tr> <td>医療ガス設備の更新</td> <td>酸素用マニフォールド</td> </tr> </table>	空調設備改修工事の施工	病室ルームエアコン設置、冷却水ポンプ改修、看護師休憩室用ルームエアコン設置、医療従事者住宅用室外機移設	医療ガス設備の更新	酸素用マニフォールド						
空調設備改修工事の施工	病室ルームエアコン設置、冷却水ポンプ改修、看護師休憩室用ルームエアコン設置、医療従事者住宅用室外機移設										
医療ガス設備の更新	酸素用マニフォールド										

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	入院患者や外来患者が快適な環境での療養、受診を受けるとともに、職員の業務環境向上ため必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	経年劣化等に伴う院内設備の改修により、快適な療養、受診環境が維持されていることから有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	効率的な施工とするため設備管理委託事業者との整備内容に対する協議を重ね、計画的な整備及び事業費の抑制に努めている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入院及び外来患者すべての療養、受診環境に係わるものであることから公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
本事業により快適な療養、受診環境が整備された。		

今後の展開方向 (Action)

継続/現状維持		
来院者が快適かつ安心して療養や受診ができるよう病院 (院内) の環境整備も必要であることから、今後も計画どおりに進めることが適当と考える。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010060	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	経営強化プラン策定事業			担当課	国保病院・老健施設
事業期間	令和5年度	事業主体	雄武町	関係課	財務政策課
事業指標	策定計画数			数値目標	1計画

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
経営強化プラン策定業務			経営強化プラン策定業務									
財源内訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
	国庫支出金	0	0									
	道支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他	0	0									
	一般財源	5,500	4,928	5,500	4,928							
合計(千円)	5,500	4,928	5,500	4,928	0	0	0	0	0	0	0	0
特定財源	評価・実績		実施内容		●経営強化プラン策定業務委託							
			評価結果		A - 終了							

事業名	経営強化プラン策定事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	策定計画数								
抱える課題やニーズ	医師・看護師等の不足、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、持続可能な経営を確保するのが難しくなっている	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	雄武町の実態に則した経営強化プランを策定することで限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用し、病院経営を強化していく	① 経営強化プランの策定	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1計画</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	1計画	実績値	1計画	達成度	100%
目標年度	令和5年度										
目標値	1計画										
実績値	1計画										
達成度	100%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	病院経営の強化によって、地域の医療機関としての役割や機能を永続的に発揮し続けることで、町民に対し良質な医療サービスを提供する	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	令和5年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	経営強化プランの策定	策定業務の委託事業者、病院スタッフ等との協議を重ね、令和6年3月に強化プランを策定した									

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	総務省から公立病院の経営強化プランについては令和5年度中に策定することが示されるなど、持続可能な地域医療提供体制を確保するために必要な計画である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	雄武町の実態に則した病院経営強化プランを総務省から示された期限までに策定することができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	業務の委託先については、広域紋別病院の経営強化プランの受注実績があり、西紋別地域の医療に精通した事業者を選定することで、作業の効率化が図られた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

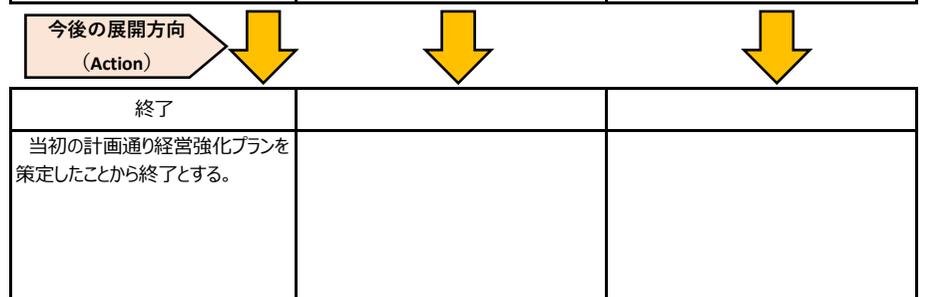
公平	判断の理由	町民全員の健康を守る、医療機関の体制確保に係わる計画であることから公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
総務省から示された期限までに、持続可能な地域医療提供体制を確保するための病院経営強化プランを策定した。		



※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会計区分	国保病院事業会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
16010070	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立	担当課	国保病院・老健施設	
事業名	新ボラリスネットワークシステム環境整備事業			関係課	
事業期間	令和5年度～令和7年度	事業主体	雄武町		
事業指標	①システム構築検討報告数 ②策定計画数 ③システム環境整備数			数値目標	①1報告 ②1計画 ③1ネットワーク

全体計画事業内容			令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容		
新ボラリスネットワークシステムの構築検討 新ボラリスネットワークシステムの構築			新ボラリスネットワークシステムの構築検討		新ボラリスネットワークシステムの構築検討 (計画承認申請)		新ボラリスネットワークシステム環境整備						
													年度別数値目標
財 源 内 訳	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	
	国庫支出金	5,000	0				5,000						
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	5,000	0					5,000					
合計(千円)	10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	0	0	0		
特 定 財 源	地域医療情報連携ネットワーク構築事業補助金		評 価 ・ 実 績	●新ボラリスネットワークシステムの構築検討									
		評価結果	A - 継続 / 内容の見直し・変更										

事業名	新ボラリスネットワークシステム環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	柳谷 周一

令和5年度実施
令和6年度評価

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

誰、何が (対象)	雄武町民	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	システム構築検討報告数								
抱える課題やニーズ	脳の病気については一刻を争うものであり、時間の経過によって後遺症にも影響があるため、転送先の基幹病院で速やかな処置を行える体制整備が求められている	指標 (指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
どのような状態になることを目指したのか (意図)	脳の病気の場合に転送を行うことが多い名寄市立総合病院とのボラリスネットワークシステムの構築によりCT画像や検査データの相互共有が可能となり、転送後の処置が速やかに行える	① システム構築検討報告数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1報告</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1報告</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値	1報告	実績値	1報告	達成度	100%
目標年度	令和5年度										
目標値	1報告										
実績値	1報告										
達成度	100%										
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果=目的	町民の脳の病気による死亡率の低下及び後遺症の軽減	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>令和5年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	令和5年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	令和5年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
内容 (どのような手段で何を行ったか)	システム構築検討報告数	ネットワーク構築に向けた検討を行っていたが、二次医療圏域である遠紋圏域においても同様のネットワーク導入の検討を行うこととなり、先行して名寄との導入を行った場合の費用負担などを改めて確認する必要が出たため、これらについて報告を行った。									

■事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	脳の病気については一刻を争うものであり、時間の経過によって後遺症にも影響があるため、基幹病院で速やかな処置を行える体制整備は町民の生命を守るためにも必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	名寄市立総合病院が含まれる上川北部圏域以外に二次医療圏域である遠紋圏域でのネットワーク構築について併せて検討を行う必要が出てきたことから、事業の推進方法について見直す必要がある。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業の実施に当たっては地域医療情報連携ネットワーク構築事業補助金を活用することで事業費の抑制が図られる。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員の健康及び救急医療体制に係わるものであることから公平性は保たれていると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A : 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B : ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C : 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D : 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
A		
計画当初に想定していた上川北部圏域以外に雄武町が含まれる遠紋圏域でのネットワーク導入の検討が新たに加わったことから、両圏域でのネットワーク構築について検証を行うため、事業内容の見直しが必要である。		

今後の展開方向 (Action)			
継続/内容の見直し・変更			
両医療圏域での接続に係る、費用負担や補助制度の申請方法などについて情報収集を行ったうえで、事業の進め方を検証し、計画について変更を行う。			

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止